

PTA会報

No.53 2010.11

嵩山

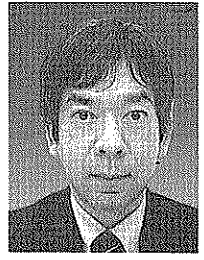


松江東高

目次

○ P T A会長挨拶	1
○ 校長挨拶	2
○ 特集「高校生活と私」	3
○ 緊急企画 松江東高校生携帯電話利用アンケート	12
○ 部活結果一覧	15
○ 新任教職員自己紹介	21
○ P T A会務報告	25
○ 編集後記	26





これまでの活動を 通して思うこと

P.T.A会長 宮脇 健

本年度の総会で、P.T.A会長として承認をいただいてから、半年。一昨年副会長就任から、役員として早や二年半が過ぎました。その間、保護者の皆様並びに校長先生を始めとする教員の方々のご理解、ご協力をもちまして大過なく活動させていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今年の夏は、気象庁が統計を取り始めた一八九八年以降で一番暑い夏でした。そのため全国では熱中症で倒れる方が急増し、学校等でもその予防に最善の努力がはられました。当東高校でも、体育祭で一部種目の割愛等ありましたが、そのおかげで一人の病人を出すことも無く、終えることが出来ました。校長先生も言っておられますが、先生方の確かな判断と皆様の協力のおかげだと思えます。

このような自然環境だけではなく、生活・教育環境においても物事は近年急速に変化しています。それも本年度の猛暑のように、段々苛烈になってきている気がします。子供達はその中で生きていくために、術を学んでいかなければなりません。高校三年間は社会に出る前の、準備期間です。この時期に勉強、友達との対人関係等を通して、こ

れから迫りくるであろう困難に立ち向かえる精神や、能力を身につけてもらいたいと思います。そのためには、我々保護者も学校と共に協力していく必要がありますので、これからもよろしくお願ひします。

さて、副会長就任から二年半の間、役員として各種P.T.A会合の出席、先生方との交流などを通して、いろいろな経験をさせて頂きました。

昨年は中国四国地区高等学校P.T.A連合大会で愛媛に行つてまいりました。マラソンランナーの土佐礼子氏の講演と各学校P.T.Aの活動発表、高校生による発表が、主な内容でした。その中でも、高校生による発表の「ミニ俳句甲子園」は、若い感性が五・七・五の短い言葉に凝縮されたもので、とても素晴らしいかったです。またそれぞれの句について、デベートを行うのですが、参加者ひとりひとりの個性が現れていて、これも楽しませてもらいました。昨今、若者の日本語の乱れが取り沙汰されていますが、このような俳句を通して、日本語の素晴らしさを認識してもらいたいと感じました。

本年は、全国高等学校P.T.A連合大会で東京に

行ってきました。トヨタ自動車会長の張富士夫氏の基調講演と、京都大学大学院医学研究科准教授の木原雅子氏の記念講演、各種分科会と、全大会開演前とか各講演の間で行われる、生徒たちのパフォーマンスが主な内容でした。木村雅子氏による記念講演は「子どもに失われつつあるもの？ 忍耐力、気力人間力」と題して、テレビゲームや携帯電話等の普及が子どもたちにどのような影響を与えてきたかを、二十七万件という統計資料を基に話されました。今や高校生の九十七パーセントが持っている携帯電話。安全のためにという名目で使われていますが、使い方を間違えると、犯罪などの温床にもなってしまう物に対して、大人がどのように管理していけばいいのかを話されました。これは学校での研修プログラムとして、活用出来るような内容でした。

このような対外的な会合だけでなく、先生方の歓迎会、送別会にも出席させて頂き、普段学校では見られない先生方の顔を見ることが出来たのも良い経験でした。先生方のご苦勞、特に三年の学級担任、補習科の担当の先生がいかに変化かを感じることが出来ましたし、卒業生から各担任へのビデオレターには、とてもほのほのとした気持ちにさせられました。

これからまだ、卒業式等の事業があります。今までの経験を基にP.T.A活動を行っていきますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。



「11月の日記」

校長 中村 清志

P T A会報に書くのも、来年のこの時期が最後だ
と思います。

そのときはそのときで、最後の思いとして書くこ
とがあるうと思います。

今回は二番目に書きたいことを書きます。

四年前から、あちこち講演に出かけています。
呼んでいただいたら、都合がつけば、出かけてお
話をさせていただいています。

断る理由がないかぎりどこでも出かけます。
断る理由があれば、お断りします。

これが、お引き受けする際の判断基準です。
でも、たいていの場合、断る理由がないので、土
曜日でも日曜日でも、平日なら年休をもらって出
かけます。

ときには、子育てに関する研修の場合もあります
が、たいていの場合の講演依頼は、「人権・同和
教育」の研修会です。

そういう時、私は自分の生きてきた人生を、ある
がままに語るだけです。

失敗したことや、自分のいたらなさを、あんまり
隠すことなく語るだけです。

人権問題や同和問題に関して、こんなふうに言う

ことがよくあります。

知識では人は変わらない。人を変えるのは心だ。

もう一つ。

一片の知識が学習の成果であるならば、それは
何も学ばないでしまったことだ。

学んだことの唯一の証は何かが変わることだ。
(トイレ掃除に学ぶ会)

でも、お話のほとんどは私の思い出話を語るだけ
です。

しかし、ほんとうに言いたいことは、最後の数パ
セントです。

それは、結婚に関しての私からのお願いです。
私の上の娘は、今年の四月から社会人ですが、生
まれるときは大変でした。

そのことについて、ここに詳しく書くことはでき
ませんが、難産の中で生まれましたので、その生
を授かったとき、感動は一人(ひとしお)でした。

ですから、その後の人生に対する私の決意も、今
から考えても確固たるものとなりました。

おまえが、いざれ結婚したいという日がきたとき、
おまえがその人を愛して、

おまえもその人から愛されているなら、
お父さんは無条件で祝福する。

その思いは、それから二十数年経った今も不動で
す。

私には大学生の娘もいます。

この子が高校生のころ、学校で人権・同和教育の
授業を受けて帰ったときのことでした。いろいろ
授業について語ったあとで、こんなことを言いま
した。

私は自分で選んだ人と結婚しますから、そのとき
反対しないでください。

お父さんが反対しても、必ず自分の意志を貫きま
すから。

外国籍の人であっても、障がいのある人でも、同
和地区の人で会っても、私の意志を貫きますから。

この子の性格からして、おそらく、この子は自分
の意志を貫くと思います。

そこで、意地悪でしたが、ちょっとこの子の心を
揺さぶってやりました。

それじゃあ聞くが、もし、おまえの大好きな姉ちゃ
んが、おまえがいつも頼りにしている、おまえの
愚痴をいつも黙って聞いてくれる姉ちゃんが、も
し、こう言ったら、おまえはどうする？

あんたはいいでしょう。あんたは好きな人と
結婚できるからいいでしょう。

でも、そのことが原因で、私が結婚できなく
なったら、どうしてくれるん？

下の娘は、黙りこくってしまいました。

しばらくしてから、おもむろにこう言いました。

お父さん、怯（ひる）むわあ。

お姉ちゃんが言うなら、ちよつと怯んでしまわあ。

私はこういうふうに言つて娘の心をゆさぶりました。

いいか、差別の矛先はどこから飛んでくるかわからないんだぞ。

それが正面から飛んできたなら、おまえは、おそらく跳ね除けて進むだろう。

でも、後ろから来る差別もあるんだぞ。それが克服できるまでは、大きなこと言うな。

この二つの我が家の話をして、お願いをするのが、私の講演の決まりのパターンです。

熊本県のある中学校のベテランの先生が、ある若い先生に言われた言葉。

先生、僕はね。

娘が結婚する相手を選んできたときのために、同和教育をしているんだよ。

その人はまじめに仕事をやる人かい？
その人はお前を大切にしてくれるかい？

それだけを聞くために同和教育をしているんだよ。

【であい】二〇〇七年九月号
皆さんのお子さんが結婚されるとき、この二つでいいじゃないですか！

もし、親が、この子の親として、この二つしか問わないとしたら、若い人たちは、勇気を持って、自らの路を進んで行けます。

そうして、そのことが、社会を一步前進させてくれると信じて疑いません。

特集

高校生活と私

つらいことでもやり遂げる

男子バレーボール部 中 林 亮 人

男子バレーボール部は、一学年上の先輩が一人もおられなかったというところで、私は一年生のころから主将を務めています。

短い期間ですが、一年から部活動を続ける中で感じたのは、何事も最後まであきらめないことの大切さです。人数も少なく厳しい立場に立たされていますが、途中であきらめて後悔するよりも、最後まで頑張つてやっていく方がいいと思つたおかげで、これまでやってこれました。長い目で見ると、それはこれからの人生で、つらくてもやつてよかったと思えると思います。きつと、この部活動で経験したことが、いつか役立つと信じています。



あいさつの大切さ

女子バレーボール部 鎌 田 真末子

私が高校生活の中で学んだことの一つは、あいさつについてです。私は部活動を通してあいさつの大切さを学びました。私は、初めての遠征のとき、あいさつができなくて叱られました。自分ばかりとあいさつをしたつもりだったのに、相手に伝わっていませんでした。しかし、あいさつの難しさを感じました。しかし、難しさと同時にすばらしさも知りました。それはあいさつを交わした人と親しくなれるということです。

「元氣？頑張ってる？応援してるよ。」などのうれしい言葉をかけてくれる人もいました。どの言葉も私の心を明るくしてくれました。私はこれからもあいさつを大事にしていきたいと思えます。あいさつが自分の将来を明るくしてくれそうだから。



部活動で得た経験

男子バスケットボール部 柄川 竜馬

高校生活の中で、何よりも自分を成長させてくれたのは部活動だと思います。

新チームが始まってすぐに自分は故障してしまい、最後の一年間は満足にプレーすることができずに終わってしまいました。今まで大きな怪我をしたことがなかった自分にとってこの経験は苦しいものでしたが、同時に、多くの人に支えてもらっていることを強く感じることでできた貴重な経験でした。

自分を支えてくれたチームメイトや家族、応援して下さった多くの方々感謝し、部活動を通して学んだことを、これからの人生に活かしていきたいと思っています。

挑 戦

女子バスケットボール部 土江 紗世

私はバスケットボールを通じて、何事に対しても挑戦することの大切さを学びました。インターハイで二勝するという大きな目標をチームで立てて挑戦しました。その中で、苦しくても辛くても耐え抜く強い心、支えあった仲間との強い絆、応

援して下さった方々への感謝の気持ちなどを学ぶことができました。

目標は達成できませんでしたが、最後まで挑戦したからこそ、このようなことを学ぶことができました。

この貴重な経験を活かして、今後も挑戦していきたいと思っています。

前 進

男子テニス部 小 草 裕

私はこの高校生活でいろいろなことを経験できたように思います。

高校に入学して、それまでと変わったのが、多くの人たちと話すようになったことです。人と話すことで自分がどうなるべきかということのヒントをもらったり、同じ活動をしたりすることで自分の世界の狭さを知りました。

高校生活で得たものは数え切れないほどあり、忘れてしまったこと、失くしたものもあります。それを受け入れ、新しい目標に向かいこれからも頑張っていこうと思います。

テニスを通して学んだこと

女子テニス部 安 食 みのり

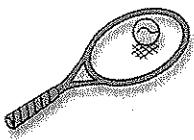
私の三年間の部活動は、とても濃いものでした。あつという間に、最後の総体が終わってしまいました。振り返ってみると、いつも周りの方々に助けられていたと思います。テニス部廃部の話が出たときも沢山の方に応援していただいたおかげで、三年間テニスをすることができました。私はテニスを通して、自ら進んで教えてもらいに行く力がついたと思います。教えてもらえばもうほど、テニスが楽しくなり好きになりました。こんなに楽しい部活動ができたのは、今まで私に付いてきてくれたテニス部のみんなのおかげです。本当にありがとうございます！

部活動を通して

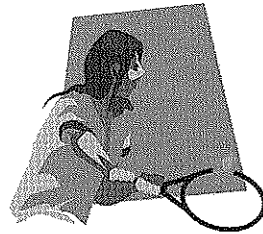
男子ソフトテニス部 藤 原 凧

僕たちは高校での部活動を通して、大事にしてきたことがあります。それは、感謝の気持ちを忘れないことです。

僕たちは自分たちが部活動をするにあたって、保護者や先生方の協力や理解に支えられていることに感謝しながらがんばってきました。大好きな



ソフトテニスができることや、最高の仲間達と一つの目標に向かってがんばることができたのもすべて周りの方々の協力があったから成り立っていたと思っています。みなさん、本当にありがとうございました。



大切な経験

女子ソフトテニス部 藤井香那

私はキャプテンを務めることを通してたくさん
のことを経験することができました。

先輩方が引退されて自分がキャプテンに選ばれたとき、自分なかにキャプテンが務まるのかという不安でいっぱいになりました。実際にキャプテンをしてみても、人をまとめていくことの大変さを実感しました。大変なことたくさんありましたが、精神的に少しは強くなり、成長できたのではないかと思います。私にとってキャプテンをすることはとても大切な経験となりました。この経験をこれから生かしていきたいです。

かけがえのない仲間

サッカー部 広江悠太

自分の高校生活を振り返ってみると、ほとんどがサッカー一色だったと思います。県大会優勝という目標に向かって仲間たちとともに挑戦した日々は、私にとってかけがえのない時間です。

しかし、何もかもが楽しかったわけではありません。チームのキャプテンとして苦悩したり、つらかったこともたくさんありました。そんなときに、その都度支えてくれたのは部員とマネージャーでした。仲間がいたからこそ最後までやってこれたのだと思います。

この二年間目標に向かって努力した過程が、次なる目標へとつながっていくものだと思います。

私とバドミントン

女子バドミントン部 三成里奈

私が高校生活の中で一番に残っていることは、部活動です。その中でも自分がキャプテンに選ばれたことでした。キャプテンになって本当にたくさんのお話を学びました。みんなそれぞれ、意見が違ったり、やりたい練習内容が違ったりしてなかなかまとめられない時もあり、自分が本

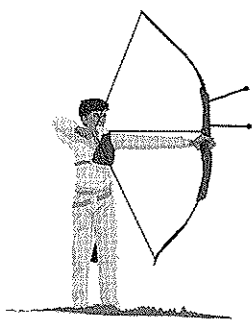
にキャプテンでいいのかとても不安になった時期もありました。しかし、友人や親が支えてくれ、最後までキャプテンとしてみんなを引っ張っていくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。三年間、部活動を続けることができ、本当によかったです。

部活動で学んだこと

アーチェリー部 吉田健悟

私は中学生の時にも部活動をしていましたが、大した目標もなく、ただなんとなく毎日練習していました。しかし、高校生になりアーチェリー部に入部すると、インターハイという目標を持つことができ、日々の練習にも意欲的に取り組むことができました。

最後の大会では、インターハイ出場はかきませんでしたが、最後まであきらめずに頑張ることができ、部活動を通して目標に向かって努力することの大切さを学ぶことができました。アーチェリーに出会えて本当によかったです。



絆

男子ハンドボール部 吉野正浩

僕がキャプテンをしてみても気づいたことは、仲間の大切さです。ハンドボール部は、一時期廃部寸前にまでなっていました。友達の協力で、再び活動することができるようになりました。そして、県総体に出場することができましたが、残念なことにより結果を残すことができませんでした。しかし、その県総体には多くの東高生が応援に来て下さり、彼らの応援に励まされて最後まで諦めずにプレーすることができたと思います。これらの体験を通して、人と人の繋がりの大切さを実感しました。

保護者の皆様、顧問の先生方、外部コーチの森江さん、三年間お世話になりました。

走力結手

女子ハンドボール部 利見涼

三年間の部活動が終わり、ついに本格的に受験モード！という感じになってきました。部活動で学んだことは何事にも生かせると思います。とにかく、あきらめない気持ちは本当に大切だと部活動を通して感じました。夏の暑い練習にも、冬の

二十七キロのロードレースも三年間、一生懸命やり遂げられたので、何事にも前向きに立ち向かうことができると思います。部活動では、泣いたり笑ったりいろいろありましたが、その中で成長しつつあったのだと思います。今思うと、何もかもが青春！という感じがします。三年間の部活動を励みに、これからは、自分の進路を実現できるように頑張ります。

感謝

男子卓球部 山口峻平

私は一年間キャプテンを務めてみて様々なことを学びました。最も強く感じたのは支えてくれる人のありがたさです。もともと人をまとめるのが苦手だった自分がキャプテンという、人をまとめる立場に立つのはとても不安でした。しかし、部員たちや友人、先生方の助けがあり、なんとか一年間キャプテンをすることができたと思います。この経験をこれからの人生に必ず活かそうと思います。卓球部を支えて下さった皆様、ありがとうございました。

失敗は成功のもと

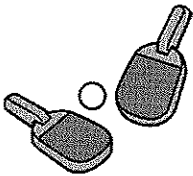
女子卓球部 金木瑛実加

私は東高に入学する時、「高校生の間にたくさん挑戦をしよう！」と心に思っていました。勉強だけ、部活動だけ頑張るのではなく、様々な経験をしたいと思いました。東高にはたくさんさんの経験の場がありました。そこで私は「失敗」から多くのことを学びました。その多くは部活動でした。部活動で、一度大きな失敗を経験しました。しかし、その失敗があったからこそ私たちは成長できたと思います。一番大切なのは、失敗をしないことではなく、失敗から何を学びとるかです。そして、目標に向かって諦めないことも大切です。よく言われますが、人は転んだことには興味を持ちません。そこからどう立ち上がるか、ですよ！

陸上部に入って

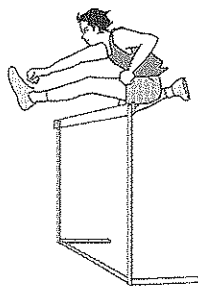
陸上競技部 谷尻尚之

自分は友人に誘われて高校で初めて陸上を経験しました。入部したころはただなんとなく部活動をしているだけでしたが、一緒に練習をしている仲間の走りや、大会で他の人の記録を見て自分の弱さを知りました。自分はそれから一生懸命練習



するようになり、記録が伸びるにつれて喜びを感じるようになり、最終的にはもっと早くから陸上をするべきだったと思うほど陸上が好きになりました。

今では陸上に誘ってくれた友人や、一緒に練習してきた仲間感謝しています。



達成

ボート部 井川雄貴

自分がこの高校生活で学んだことは何だろうと考えたとき、すぐには見つけることができませんでした。私は友人に誘われてボート部に入部しました。初めはとても楽しかったです。やがて先輩方が引退され、自分たちが中心となり後輩を引っ張っていく立場になったとき、先輩方の苦勞を思い知りました。途中戦意を喪失しかけたこともありました。でもあきらめず頑張った結果、インターハイへの切符をつかむことができました。そして再び高校生活で得たものは何かと考えたとき、思い浮かんだのは、何事も継続することが大切ということです。ここで得たものを糧にこれからも頑張っていこうと思います。

部活動を通して

野球部 野津武司

二年数ヶ月間の高校生活を過ごしてきましたが、部活動は自分の生活の中で中心となっていました。その部活動を通して、実に多くの発見があり、多くのことを学びました。あいさつ、礼儀、周囲への心遣いなど、どれもこれからの人生の中で重要になることばかりであったように思います。

また、あきらめずに戦う気持ち、一つのことを最後までやり遂げることなど精神的にも成長できたように思います。

自分が部活動を通して学んだこれら多くのことを自信にして、向上心を持ち続けてこれからの日々を過ごしたいです。

最高の思い出

男子剣道部 石橋俊之

剣道部に入部し、ずっと追いかけてきた総体優勝はなりませんでしたが、この三年間、東高剣道部でいろいろな人と剣道ができたことを誇りに思っています。楽しいこと、苦しいことを部員と一緒に乗り越えることができたことが三年間の最高の思い出です。

最後になりましたが、自分の剣道を続けることができたのも、剣道部員みんな、顧問の松浦先生、坂根先生、東郷先生、地域の先生方、陰ながら支えて下さった保護者の皆様のおかげだと思っています。ありがとうございます。

堅忍大成

女子剣道部 渡部亜弥

私が剣道をしてきて良かったと思うことは、同じ目標に向かって一緒に稽古に励んだ、明るくて楽しくて大好きな仲間ができたこと、そして、どんなに苦しいことも辛いことも、逃げ出さなければ必ずやり遂げることができるということを経験したことです。三年が自分一人で辛かったです、絶対にやめられない、先輩として、大将として、最後の最後まで逃げないと誓って、いろいろな人に支えられながら、インターハイには行けませんでしたが、逃げずに戦うことができました。これからも、この仲間と経験を大切にしていきます。



最後の部活動

柔道部 朽木久志

東高に入学して三年間いろいろなことがありました。特に部活動については、本当に大変で、たった一人の上級生が辞めてしまつて一年生二人になつてしまふなど、最初から忙しかったです。その上、自分が上級生になつても新入部員はなく、二人だけの練習が続き、精神的にもつらい思いをしました。しかし、何とかここまでこれたのは、支えて下さつた東高の先生方や、三年間見守り、応援してくれた両親のおかげです。今まで支えて下さつた方々に感謝をし、これからもがんばつていきたいと思ひます。

一射入魂

弓道部 上山裕太

男子団体決勝戦、最後の一矢を射ち、負けたと悟つた。悔しくて、腹立たしくて、涙が出そうになつた。勝ちたかつた。

弓道の独特の張りつめた空間、部員一人ひとりが期待を込めて応援してくれるあの空間が僕は大好きだつた。その期待に応えるために部長としてこの二年間走り続けてきたのだと思う。

僕の弓道はいつも「他人のため」であつたと思ふ。部員に信頼してもらうため、先生に期待に応えるため、優勝して両親を喜ばせるため。様々な人の存在が僕を支えてくれた。

「他人のため」に努力することを、弓道から、部員みんなから学ばせてもらつた。この経験を糧にこれからも頑張つていきたい。

水泳を通して学んだこと

水泳部 横木翔

私はこの三年間、東高の水泳部で飛び込みをやつて来ました。そこで感じたことは、周りの保護者の方や先生方、そして部活動の仲間の支えがあつたからこそ頑張つてこれたということです。一年生の国体で最後の一本を失敗してしまい、七位に終わり、とても悔しい思いをしました。そのとき、先輩が「よく頑張つたな。」と言つて下さつて、とてもうれしくて励まされました。

私は、三年間の高校生活の中で、部活動を通して、人の温かさに触れ、そして人と人とのつながりの尊さを学びました。この先つらいことがあつたとしても、周りの人たちを信じて進んでいくことができると思ひます。

合唱を通して

合唱部 山本香織

正直に言つて、私は自分が部長として合唱部をまとめていくことになるなんて思つてもみませんでした。中学校では違う部活動に入つていたこともあり、どうしていいのかわからずに迷つたり、不安になつたりすることもたくさんありました。しかし、その度に部活動の仲間や顧問の先生に助けられて、部長という役目を全うすることができました。

合唱を通してこんなに素敵な仲間に出会えたこと、そして何より、大好きな仲間と一緒に合唱ができて本当に幸せな三年間でした。

部活動を通して

吹奏楽部 宮崎菜水

「島根県立松江東高等学校、ゴールド。」の発表と共に大きな歓声。そして、やつと夢が叶い、中大会への推薦状をいただくことができました。夢が叶つたあの瞬間はずつとずっと忘れられないと思ひます。

東高に入学して、吹奏楽部に入つて、先輩方や先生を見て、「夢」を「現実」にしたという気持ちが強くなつたと思ひます。それが実つたこと

は、大きな自信となりました。

部長になって、自分の無力さや、不器用さに何
度もくじけそうになりましたが、いつも部員や先
生が支えてくれました。最後まで泣き虫は治りま
せんでしたが、ここまで部活動をさせてくれた家
族、応援して下さいの方々、部員、先生に感謝でい
っぱいです。ありがとうございます。



弦楽部で得たもの

弦楽部 安達沙紀

私は弦楽部の部長として、部員や顧問の先生方、
家族などの多くの人に支えられながら頑張つて来
ました。他の部活動に比べたら、そこまで目立っ
ていた部活動ではありませんでしたが、この部活
動に入らなかつたら絶対に味わえないような思い
出も沢山できました。宮崎県で行われた全国高等
学校総合文化祭にオーケストラとして参加させて
もらったことも、そんな思い出の一つです。これ
からも、この部活動で学んだものと、部活動を通
じてできた仲間たちを大切にしていきたいと思っ
ます。

高校生の視点で

美術部 野津あずさ

二年間美術部に在籍してきた中で様々な種類の
作品を作りました。私はデザインを作ることが多
かったです。デザインが油絵や水彩絵と違う点
は、自分の主張が最も大切であることだと思いま
す。毎回描画よりも主張を考えることに苦労しま
した。自分の主張を持つためには描くモチーフに
ついてよく知らなければなりません。そして、高
校生の視点でしか見えないものもたくさんあると
思います。自分の表現できることはとても素敵な
ことです。創作しない人も普段からアンテナを伸
ばし、自分を表現できるような主張を持つといい
と思います。

部活動を通して

演劇部 門脇朱里

私は入学当初、演劇部はちっとも眼中にありま
せんでしたし、自分自身入部したことを未だに不
思議に思っています。

やる気もなくふらふらしていた時期に部員募集
のポスターが貼り出され、何となく見学に行つて
みた演劇部でしたが、迎えて下さった先輩方はと

ても素敵な方々で、居心地良く活動させていただ
くことができました。

また、先輩方だけでなく、後輩、放送部のみな
さん、学習センターの先生方、顧問の河村先生に
は大変お世話になりました。ここで学んだ感謝の
念を生涯大切にしていきます。ありがとうございます。

伝える

放送部 宮脇千波

放送とは何か。放送とは人に何かを伝えるこ
とだと私は学びました。それから、放送も一人
ではできないことも学びました。私は、才能も技
術もありませんでしたが、仲間には恵まれていま
した。個性が強くて大変でしたが、このメンバ
ーでやってこれた本当に良かったです。

放送部での活動は普段なかなかできないことも
多く、今までの活動すべてが私を成長させてくれ
たと思います。そういつた経験を生かし、これか
らもう多くの人に多くのことを伝えていきたい
です。



ON AIR

「しない」ことと

「できない」こと

ESS部 飯庭 ゆめこ

「どうせできんし。」私は最初から決めつけていた。高二の数学の中間テストで私は、最悪の点を取り、放課後に居残りをさせられた。数学が大嫌いな私は出されたプリントを前に逃げ出したくなったが、あることに気がついた。「あれ？できない。」そう、意外にも解けたのだ。それから私は数学をやり始め、少しずつであるが点が上がり、今では定期テストで一番点数が高い教科となった。この経験から私は、する前からあきらめるのはいけないということに気づいた。よく言われることだが、多くの人は自ら制限を作り、最大限の力を出し切れていないのではないだろうか。「できない。」ということとは、「しない」ことと同じだと思う。高校生活において私は、大切なことを学んだ。卒業してもこの経験を生かし、自分自身を高めていけるようにしたい。また、初歩的なことから熱心にあきらめずに教えて下さった先生方から心から御礼申し上げます。



部活動を通して気付いたこと。

書道部 坂本 裕美

私は高校生活において、多くのことを経験し、その度に多くのことに気付きました。特に部活動では仲間の大切さに気付きました。

私が書道部に入学したとき、一年生は私一人でした。初めは心細く感じる事が多く、部活動に行くことがつらいと思うことがありました。そんなとき、先輩方が優しく話しかけて下さり、次第に心細く感じることもなくなり、部活動に行くのも楽しみになりました。先輩が引退された後は、私一人になった時期もありましたが、先生方の呼びかけもあり、同級生や後輩が入学してくれたおかげで、引退まで楽しく部活動を続けることができたと思います。これから書道部で気付いた仲間の大切さを忘れず大切にしていきたいと思いません。

後悔先に立たず

自然科学部 榎原 航

思えば、自分はかなり他人に流されていると感じました。いつも素直に人の言うことを聞かずに受け流すような僕ですが、重大な決断を迫られる

と、その決断を他の人の判断に任せていたと思います。

昨年夏、当時、僕は顧問だった田中先生に誘われて、自然科学部に入学しました。このときも、自分の判断というよりは家族の意見に押されて入学したと言った方が正しいと思います。正直やる気はあまりありませんでした。

しかし、自然科学部に入学して様々なことを経験したことで、今では入学して良かったと思っています。磯に生息する生き物を調査したときに釣りをするのですが、このときしていなかったら、釣りをする機会はもう一度もなかったかもしれません。一年の頃から入学していれば、もつといういなな体験ができたかと思うと少し残念ですが、後悔しても仕方がないので、これからは、自分で考えることを放棄しないで、悔いの残らないような決断をしていこうと思います。

JRC部に入って

JRC部 内田 里歩

私が一年生のころJRC部に入ってすぐに、街頭募金活動をしました。募金活動は初めてで不安がありました。きちんと呼びかけができるだろうかなど、様々な考えが浮かびました。しかし、募金活動が始まると、多くの方が募金して下さい、

同時に温かい言葉もかけて下さいました。そのときから私の不安はなくなり、楽しく活動することができました。積極性のなかった私が、高校に入學して部長にまでなろうと思えたのは、この日からたたくさんの方に支えられたからです。JRC部に入ってよかったですと心から思います。

小説の魅力に取り憑かれ

文芸同好会 石川大地

高校生活を振り返ってみると、僕はほとんど毎日小説を書いていたような気がします。できた作品は二桁まで数えられます。文章で表現することの魅力に、僕は夢中になったのです。

小説ですごいと思うのは、一つの文に様々な意味を持たせることができる点です。単なる情景の描写が場面の雰囲気を表したり、ただの説明文だと思っていたのが後の展開の重大な伏線だったり、そういった文に出会うたびに僕は自分もこんなものを書いてみたい、読者を驚かせたいと憧れるようになりました。幼い頃からの想いは、高校生となって夢という形になりました。だから、僕はこれから小説を書いていきたいです。

洋菓子より和菓子を食べよう

茶道同好会 客野那月

私にとって茶道同好会は週に一度の休息の場でした。楽しい部活動でしたが、茶道の作法は難しく、覚えるのに苦労しました。

ですが、茶道同好会の一大イベントである東雲祭のお茶会に向けて日々頑張ってきました。しかし、私の部活動での一番の目的は活動日のたびに食べる季節感のある和菓子でした。松江は全国有数のお菓子どころです。その松江にいるのに和菓子を食べないなんてもったいないと思います。

地元の、そして日本の文化に触れ、作法を学んだことは社会に出てからも役立つと思います。

仲間

調理同好会 園山瑞貴

調理同好会の部長になってみて、私は今までそんな重役についていたことがなく、最初は正直何をしたいかわかりませんでした。そんな中で調理同好会は夏にある東雲祭で毎年アイスクリームを販売するのですが、その年の新入部員が全員やめてしまい人手が足りなくなってしまうとき、暑い中、部員ではないのに友人が手伝ってくれたとき

は、友人の大切さをとて感じました。三年生になって一年生の前で部活動を紹介するとき、他の仕事で忙しいはずの部員と一緒に紹介してくれたときも、友人の大切さを感じました。私はこの三年間、調理同好会を通して仲間の大切さを学べました。これからもこの経験を生かして仲間を大切にしたいと思います。

欠けていたものを見つけたとき

写真同好会 中村朱里

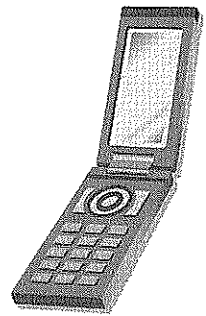
高校に入學してから、それまでよりも自分自身について考えることが多くなりました。

勉強面では、テストや模試の結果を見る度に、自分自身の実力のなさを思い知り悔しいと思えました。部活動では、同好会の会長になったことで自分の行動力のなさを実感し、何度も反省をしました。

この高校生活の中で、自分と周囲の人とを比べて、自分がないものを見つけては嫉妬したり、うらやましいと思ったりしました。しかし、今思うと、そういう感情を抱いたことは、同時になぜ自分にはないのか、どうしたらよいかと考え直す貴重な機会だったのかもしれない。これからも、この三年間で自分が感じたことや考えたことを大切にしたいと思います。

緊急企画

松江東高校生 携帯電話利用アンケート



今や現代社会の中では携帯電話を使うのは日常のこととなり、今の子どもたちは、携帯電話のキーボードを打つのも手慣れたものです。

でも、そのような便利なものは昔はありませんでした。約二十年前に携帯電話が登場した頃、私たち保護者世代はみんな大人になっていましたから、学生時代は辞書と手紙が日常に定着していました。昭和三十年代生まれはたぶん、時間をかけて、考えながら調べ物をした、地道な時代に育っています。時代の流れに沿って、どこでも携帯電話、どこでも電子辞書、インターネット、という大変便利でもあ



り、良い悪いも絶え間なく情報が湧いて出てくる忙しい時代です。忙しい今の子どもたちの多くが、携帯電話を所有しているのは予想されていましたが、みんなのような面を重視して安全に使用しているのか、また、迷惑や困った点などなかったかなど、先生方にもご協力いただいて、夏に全校生徒皆さんを対象にアンケートを実施いたしました。

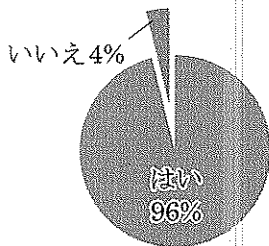
結果をご覧下さい。親も子も多忙な日々を過ごす中で、親の管理能力の間われるところですが、何か起こるのをとことん防ぐ意味でも、親子でルール・約束を話し合い決めてみるきっかけにしていただけだと思います。

最後に、ご協力いただいた皆様ありがとうございます。

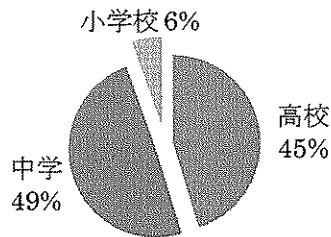
携帯電話アンケート集計結果

1. 携帯電話の所有に関して

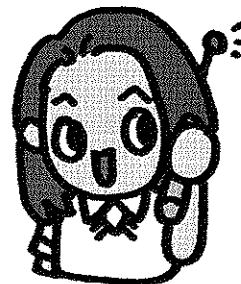
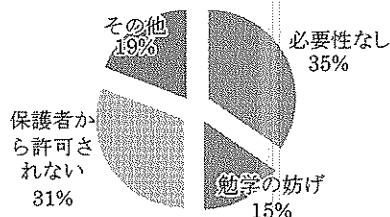
携帯電話を所有していますか。



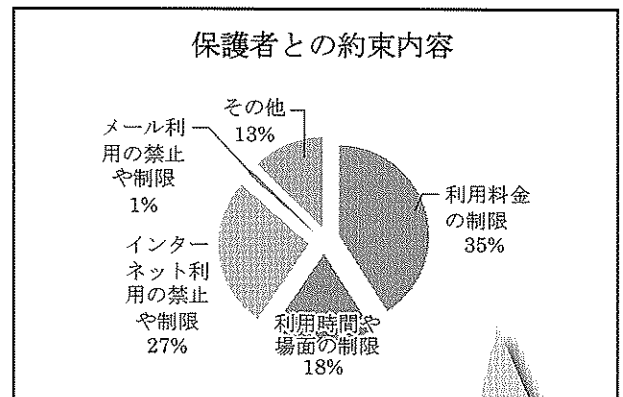
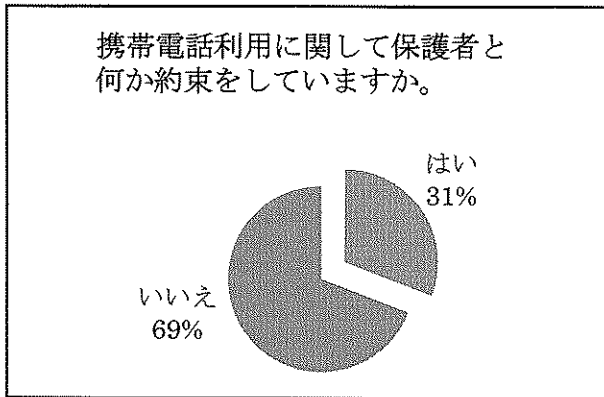
携帯電話をいつ所有し始めましたか。



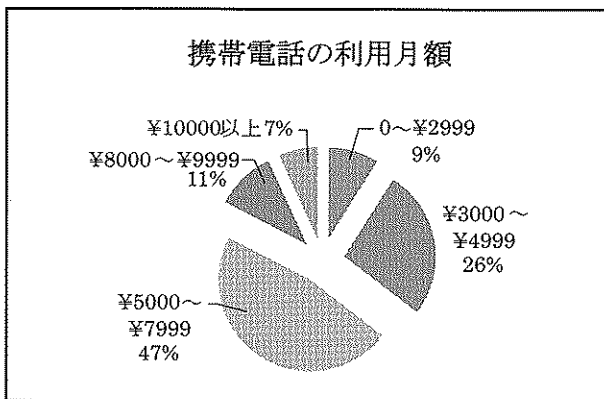
携帯電話を所有しない理由



2. 携帯電話利用のルールに関して

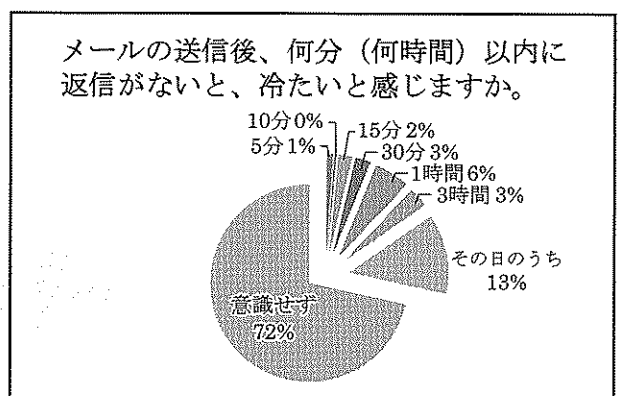
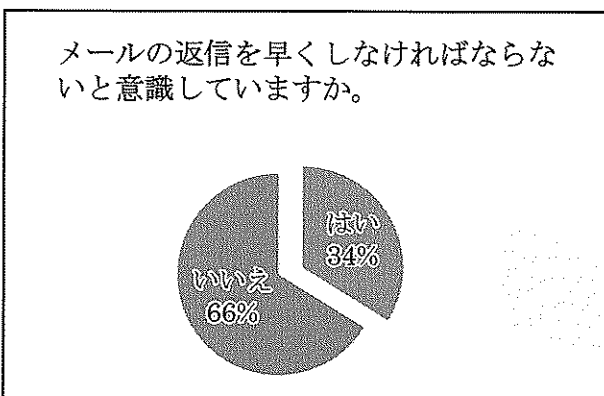
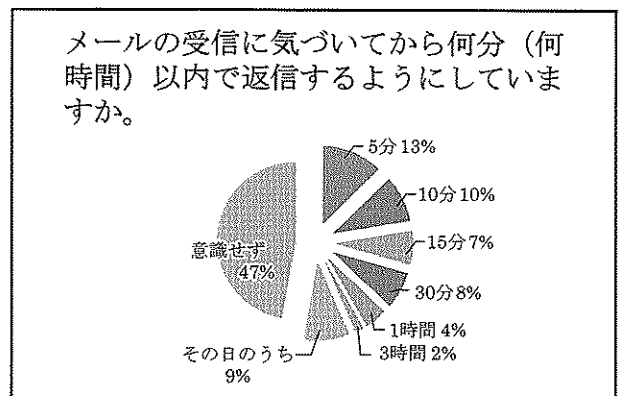
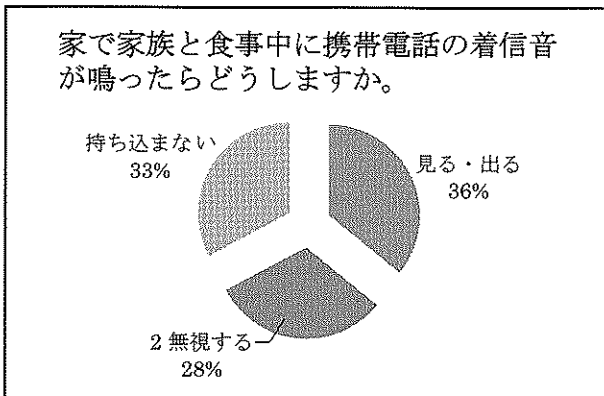


3. 携帯電話の利用月額

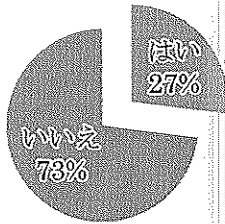


- ◎その他の約束◎
- ・ 食事時の使用禁止。17
 - ・ 学習時の使用禁止。9
 - ・ 夜間の使用禁止。9
 - ・ 利用料金を自分で支払う。6
 - ・ 利用料金の上限を設定している。6
 - ・ フィルタリング機能の使用。6
 - ・ あまり電話をかけない。4
 - ・ 夜間はiモードに接続できない。3
 - ・ 自室への持ち込み禁止。2
 - ・ 家族団らん中は使用しない。2
 - ・ 外出時、歩行中などの使用禁止。2
 - ・ 就寝時には部屋に持ち込まない。
 - ・ 連絡用として使用する。
 - ・ 利用料金が高額になれば使用禁止。

4. 携帯電話の通話・送受信に関して



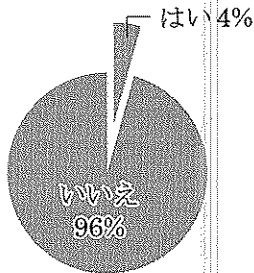
メールの送受信を負担に感じることはありませんか。



◎自由記述◎

- ・返信が面倒。76
- ・学習の妨げになる。27
- ・物事の妨げになる。12
- ・睡眠の妨げになる。5
- ・会話が弾むと終わりたいのに終われない。3
- ・返信しなければならないという義務感。3
- ・メールをしている時間をもったいない。2
- ・相手を不快にさせる内容にならないように気をを使う。2
- ・相手が不快に思わないうちに早く返信すること。2
- ・返信が帰ってこない、不快にさせたのではと不安になる。
- ・返信を待っていないなければならない気がする。

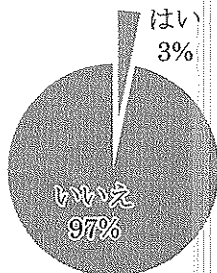
悪口メールやBBS（掲示板）への書き込みで嫌な思いをしたことがありますか。



◎自由記述◎

- ・中傷の書き込み。2
- ・学校裏サイトでの実名を挙げて中傷された。2
- ・出会い系サイトの掲示板に無断でメールアドレスを書き込まれた。2
- ・ホームページ荒らしなど。2
- ・「死ね」と書かれたことがある。
- ・気持ち悪いことを書き込まれた。
- ・勝手に撮影された写真をチェーンメールでばらまかれた。
- ・自分になりすまし、他人がメールを送信していた。
- ・無断で実名を使用され、サイト上で相手を傷つけたとされ犯人扱いされ、脅された。

メールやサイト利用でトラブルになったこと、困ったことがありますか。



◎自由記述◎

- ・迷惑メールの受信。3
- ・自動的に変なサイトにアクセスし、約3万円架空請求された。3
- ・出会い系サイトからたくさんのメールが届く。
- ・不審なメールの受信。
- ・同じ人からしつこいメールが来た。
- ・音楽サイトに登録したら、勝手に出会い系サイトに登録され、不特定多数のメールが送信されてきた。
- ・モバゲーに登録したら迷惑メールが来た。



平成22年度前期部活

平成22年度結果一覧(8月31日まで)

島根県高校総体男女総合8位

陸上競技

《出雲陸上》

男子一五〇〇M	2位	山崎慶佑
男子五〇〇〇M	2位	山崎慶佑
男子四×一〇〇リレー	3位	津森康介
男子一五〇〇M	2位	山崎慶佑
男子五〇〇〇M	2位	山崎慶佑
男子四×一〇〇リレー	3位	津森康介
女子八〇〇M	8位	平澤聖奈
女子三〇〇〇M	6位	平澤聖奈
女子やり投	2位	小澤優希
《全山陰陸上》		
男子五〇〇〇M	8位	安達健太
女子八〇〇M	4位	板持来実
女子三〇〇〇M	3位	板持来実
女子やり投	4位	小澤優希
《県選手権》		
男子一五〇〇M	2位	安達健太
男子五〇〇〇M	4位	安達健太
男子四×一〇〇リレー	8位	津森康介

柔道

《中国大会》

男子個人 66kg級	柁木久志	予選リーグ敗退
女子個人 57kg級	坂本裕美	第3位
《中国大会》		
男子個人 57kg級	坂本裕美	1回戦敗退
女子個人 57kg級	坂本裕美	1回戦敗退

《中国大会》

女子一五〇〇M	決勝進出	板持来実
女子一五〇〇M	3位	青戸彩夏
女子三〇〇〇M	1位	板持来実
女子三〇〇〇M	2位	小澤優希
女子やり投	3位	青戸彩夏

剣道

《中国県予選》

男子団体	1回戦	シード
男子個人	2回戦	対平田 3-2勝ち
男子個人	3回戦	対大田 3-2勝ち
男子個人	準決勝	対出雲商 4-1勝ち
男子個人	決勝	対大社 1-3負け
女子団体	1回戦	対松南高 5-0勝ち
女子個人	2回戦	対出雲 1-2負け
女子個人	7位決定	対松江南 5-0勝ち
男子個人	稲澤	ベスト⑩
男子個人	吉松・石原・金森	ベスト32
女子個人	渡部・山根	ベスト⑩、境
女子個人	渡部・山根	ベスト32

《県総体》

男子団体	1回戦	シード
男子個人	2回戦	対松江南 4-0勝ち
男子個人	3回戦	対出雲 2-3負け
男子個人	1回戦	対松江北 4-0勝ち
男子個人	2回戦	対大田 4-0勝ち
男子個人	準決勝	対大社 0-4負け
男子個人	金森	ベスト16
男子個人	飯塚・吉松	ベスト32

弓道

《中国大会県予選》

男子団体 (中村・大谷・橋本・野津・上山) 3位
 *中国大会出場権獲得

女子団体 (森岡・久保田・大高・森山・長澤・神谷) 予選敗退

予選敗退

男子個人 2位 上山 裕太

*中国大会出場権獲得

決勝進出 家中 義和

*中国大会出場権獲得

女子個人 予選敗退

《県総体》

男子個人 決勝進出 森脇 成隆

女子個人 決勝進出 森岡 梓・久保田小百合

男子団体 (津森・大谷・橋本・中村・上山・野津・森脇) 予選

40射21中 7位 決勝進出

決勝 80射50中 3位 総合3位

女子団体 (森岡久保田大高森山長澤神谷山下) 予選

40射11中 11位 予選敗退

《中国大会》

男子個人 出場 上山裕太・家中義和

男子団体 (津森・大谷・橋本・中村・上山・野津・森脇) 予選

20射11中 10位

決勝トーナメント進出

決勝トーナメント1回戦 (20射)

対 高松農業 9-10

1回戦敗退

サッカー

《県総体》

1回戦 0-1 浜田

アーチェリー

《県春季大会》

少年女子シングル

1位 三村 佳穂

2位 河野 愛

3位 青木 夏海

1位 吉岡 大貴

5位 内田 直輝

少年男子シングル

1位 吉岡 大貴

3位 青木 夏海

2位 河野 愛

1位 三村 佳穂

2位 青木 夏海

3位 吉岡 大貴

1位 内田 直輝

3位 内田 直輝

男子個人

《中国大会》

女子団体 予選11位 (決勝1回戦敗退)

男子団体 予選12位 (決勝1回戦敗退)

《全国高校総体》

女子団体 予選39位 (予選敗退)

女子個人 114位 三村 佳穂 (予選敗退)

189位 河野 愛 (予選敗退)

198位 青木 夏海 (予選敗退)

男子個人 124位 吉岡 大貴 (予選敗退)

バレーボール

《中国県予選》

男子 予選敗退 0-2 出雲工業・大社

女子 予選リーグ戦 0-2 松江商業

2-0 益田東

2-0 吉賀

2ブロック リーグ戦

1-2 開星

1-2 出雲

0-2 大社

男子 1回戦 0-2 浜田

女子 1回戦 2-0 島根中央

2回戦 2-0 吉賀

3回戦 0-2 安来

*ベスト8

《県総体》

男子 1回戦

女子 1回戦

2回戦

3回戦

女子バドミントン

《中国県予選》

団体 一回戦 3対0 出雲農林

二回戦 0対3 大東

個人

ダブルス 鷺見冴果・福田 楓 (ベスト16)

長瀬愛奈・野津成美 (ベスト32)

シングルス 金山千聖 (ベスト32)

鷺見冴果 (ベスト32)

福田 楓 (ベスト32)

野津成美 (ベスト32)

《県総体》

団体 1回戦 3対0 情報科学
0対3 松江商業
個人 ダブルス

鷲見冴果・福田 楓 (ベスト16)

長瀬愛奈・野津成美 (ベスト32)

シングルス 鷲見冴果 (ベスト32)

福田 楓 (ベスト32)

テニス

《島根県高等学校テニス個人選手権 松江地区予選》

男子 シングルス 坂本、安井、壺倉 本戦へ

女子 シングルス 1人 地区予選突破

《島根県高等学校テニス個人選手権》

男子 シングルス 壺倉

3回戦敗退 (ベスト32)

男子 シングルス 坂本 1回戦敗退

男子 シングルス 安井 1回戦敗退

男子 シングルス 森江 1回戦敗退

男子 ダブルス 杉谷・高梨 2回戦敗退

女子 シングルス ベスト16 安 食 みのり

《島根県高等学校総合体育大会》

男子 団体戦 2回戦 敗退 (対大田高1-2)

個人戦 シングルス 壺倉 ベスト32

森江 2回戦敗退

杉谷 2回戦敗退

ダブルス 坂本・小草

女子 団体戦 2回戦敗退

個人戦 シングルス

ベスト16 安 食 みのり

ベスト32 榎 野 裕 奈

ダブルス

ベスト16

安食みのり・佐々木成美

ボート

《松江レガッタ》

男子クオドルプル

(二村・重原・前島・林・近田) 4位

男子クオドルプル

(原田・門脇・安部・赤山・後藤) 予選敗退

男子ダブルスカル (井川・角森) 4位

男子ダブルスカル (石倉・江川) 予選敗退

男子シングルスカル (加藤) 予選敗退

女子シングルスカル (吉田) 1位

《朝日レガッタ》

男子クオドルプル (二村・重原・前島・林・近田) 準決勝進出

男子ダブルスカル (井川・角森) 準決勝進出

男子ダブルスカル (石倉・江川) 予選敗退

男子ダブルスカル (赤山・門脇) 予選敗退

男子シングルスカル (加藤) 準決勝進出

女子シングルスカル (吉田) 5位

《県総体》

男子クオドルプル (二村・重原・前島・林・近田) 2位

男子クオドルプル (原田・門脇・安部・赤山・後藤) 3位

男子ダブルスカル (井川・角森) 1位

男子ダブルスカル (石倉・江川) 予選敗退

男子シングルスカル (加藤) 5位

女子シングルスカル (吉田) 1位

《中国高等学校ボート選手権》

男子クオドルプル (二村・重原・前島・林・近田) 6位

男子ダブルスカル (井川・角森) 1位

男子シングルスカル (加藤) 準決勝進出

女子シングルスカル (吉田) 4位

《全国高等学校総合体育大会ボート競技》

男子ダブルスカル (井川・角森) 予選3位

女子シングルスカル (吉田) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (吉田) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位

男子ダブルスカル (井川・角森) 敗復1位



ソフトテニス

《山陰選手権》

男子個人 野津翔平・藤原風組 1回戦敗退
 種野友彦・吉松京介組 1回戦敗退
 長子雄士・長子将士組 1回戦敗退
 女子個人 光田あかね・池田歩美組 1回戦敗退

金森真子・原有彩組 1回戦敗退
 藤井香那・松本千咲組 2回戦敗退

《県総体東部地区予選》

男子個人 野津翔平・藤原風組 予選通過

種野友彦・吉松京介組 予選通過
 長子雄士・長子将士組 予選通過
 朝原健輔・内田勇貴組 予選通過
 扇谷幸郎・大島拓実組 予選通過
 前川勇・村尾健太郎組 予選通過
 井上元貴・高橋輝組 予選通過
 松本千咲・藤井香那組 予選通過
 金森真子・池田歩美組 予選通過
 原有彩・光田あかね組 予選通過
 信木友美・若杉麻美組 予選通過
 野津彩菜・津田明美組 予選通過

男子団体 1回戦 3-0 大社
 2回戦 0-2 松江工業
 順位決定戦 2-0 松江南

女子団体 1回戦 0-3 松江西
 2-0 横田(5位)

《県総体》

男子個人 野津翔平・藤原風組 1回戦敗退

種野友彦・吉松京介組 4回戦敗退

ベスト16

男子個人 長子雄士・長子将士組 3回戦敗退
 朝原健輔・内田勇貴組 1回戦敗退
 扇谷幸郎・大島拓実組 1回戦敗退
 前川勇・村尾健太郎組 2回戦敗退
 井上元貴・高橋輝組 1回戦敗退

男子団体 一回戦 2-1 出雲
 二回戦 2-0 矢上
 三回戦 1-2 松江高専

(ベスト8)

女子個人 松本千咲・藤井香那組 2回戦敗退

金森真子・池田歩美組 2回戦敗退
 原有彩・光田あかね組 3回戦敗退
 信木友美・若杉麻美組 1回戦敗退
 野津彩菜・津田明美組 2回戦敗退
 女子団体 一回戦 0-3 矢上 1回戦敗退

《国体予選》

男子個人 大島拓実・内田勇貴組 2回戦敗退

女子個人 前川勇・村尾健太郎組 2回戦敗退
 松本千咲・津田明美組 ベスト12

男子個人 種野友彦・吉松京介組 2回戦敗退

《中国大会》

男子個人 種野友彦・吉松京介組 2回戦敗退

卓球

《中国県予選》

男子団体 1回戦 0対3 立正大湘南
 男子ダブルス 4組参加 2回戦敗退
 男子シングルス 9名参加 安部展洋ベスト64
 女子団体 2回戦 1対3 出雲高校
 女子ダブルス 3組参加 3回戦敗退
 女子シングルス 7名参加 木村実里ベスト32

《県高校総体》

男子団体 1回戦 0対3 出雲西
 男子ダブルス 5組参加 山口峻平・安部展洋

男子シングルス 11名参加 山口峻介

女子団体 1回戦 3対0 松江南

女子ダブルス 2回戦 0対3 明誠

女子シングルス 3組参加 三回戦までで敗退

男子ダブルス 7名参加 木村実里

男子シングルス 4組参加 安部展洋・北岡貴裕

男子ダブルス 9名参加 山田 祥太郎

女子ダブルス 1組参加 2回戦敗退

女子シングルス 2名参加 2回戦敗退

《県一年生大会》

男子団1回戦 0対3 江津工業
男子シングルス 3名参加 金木裕資
ベスト32

《二次予選》

73-53 松江
79-69 出雲北陵
84-54 三刀屋
97-64 松江西
*ベスト5賞 唐桶浩平 小川健太

水泳

《県総体》

女子五〇M自由形 1位 松本 つばさ
女子一〇〇M自由形 1位 松本 つばさ
男子一〇〇M背泳ぎ 1位 横川 淳
男子二〇〇M背泳ぎ 1位 横川 淳

《二次予選》

101-46 三刀屋
61-39 出雲北陵
60-38 松江南
61-43 松江北
57-55 松江商業

《中国大会》

女子五〇M自由形 予選出場 松本 つばさ
女子一〇〇M自由形 予選出場 松本 つばさ
男子一〇〇M背泳ぎ 3位 横川 淳
男子二〇〇M背泳ぎ 2位 横川 淳
男子高飛込 2位 横木 翔
男子飛板飛込 5位 横木 翔

《中国大会》

*ベスト5賞 土江紗世 加茂日砂美
1回戦 85-65 鳥取工業(鳥取)
準々決勝 56-69 山口(山口)

《全国高等学校総合体育大会水泳競技》

男子一〇〇M背泳ぎ 予選出場 横川 淳
男子二〇〇M背泳ぎ 予選出場 横川 淳
男子高飛込・飛板飛込 棄権 横木 翔

《県総体》

男子 1位
2回戦 110-65 出雲
3回戦 94-61 松江商業
準々決勝 104-67 松江農林
準決勝 84-54 松江北
決勝 98-55 出雲北陵

バスケットボール

《中国大会県予選》

男子 1位

女子 1位

*ベスト5賞 唐桶浩平 狩野諒

ハンドボール

《中国高等学校ハンドボール選手権大会島根県予選》

女子リーグ

2回戦 72-31 松江農林
準々決勝 76-38 松徳学院
準決勝 72-69 松江商業
決勝 62-55 出雲北陵
*ベスト5賞 土江紗世 橋本実季子

《島根県高等学校総合体育大会ハンドボール競技会》

男子 1回戦 松江東 16-24 浜田水産
女子 1回戦 松江東 23-3 浜田商業
準決勝 松江東 9-25 松江女子
3位決定戦 松江東 8-21 江津
*総合第4位

野球部

《島根県高等学校春季野球大会東部地区予選》

松江東 2-4 安来
第92回全国高等学校野球選手権島根大会
松江東 3-7 松江南

吹奏楽部

《しまねシンフォネット高校オーケストラ》

第2回スプリングコンサート出演

5月29日(土) 島根県民会館

第17回定期演奏会 開催

(招待演奏 松江第二中学校吹奏楽部)

6月6日(日) プラバホール

島根県東部地区吹奏楽祭 出演

6月13日(日) 島根県民会館

第5回島根県高等学校文化フェスティバル 出演

7月9日(金) 出雲市民会館

第19回松江八束バンドフェスティバル 出演

7月11日(日) 島根県民会館

第92回全国高等学校野球選手権島根大会開会式演奏

7月15日(木) 松江市宮野球場

第51回全日本吹奏楽コンクール島根県大会

金賞受賞

(3位となり創部初となる中国大会出場権獲得)

8月1日(日) 出雲市民会館

課題曲：汐風のマーチ (田嶋 勉)

自由曲：ディオニソスの祭り(シュミット)

第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)

器楽管弦楽部門に出演

8月5日(木) 宮崎市民文化ホール

組曲「惑星」より木星(ホルスト作曲)演奏

東高東雲祭文化の部にて演奏

8月27日(金) 東高体育館

第51回全日本吹奏楽コンクール中国大会 銀賞受賞

8月28日(土) 島根県民会館

赤とんぼコンサート 出演

9月19日(日) 川津公民館

書道部

《高文連書道コンクール結果(6月4日実施)》

4名参加

特選 永田 葵

秀作 目次 彩加

長廻 真弘

渡部 菜央

特選 119名中28名

秀作 119名中52名

佳作 119名中39名

合唱部

第12回定期演奏会 開催

6月20日 プラバホール

第77回NHK全国学校音楽コンクール

島根県大会 銀賞

第49回島根県合唱フェスティバルコンクール

高等学校Aの部 銅賞

放送部

第46回県高等学校放送コンテスト

研究発表部門

優秀賞

文芸同好会

8月11、13日

全国高総文祭宮崎大会文芸部門(詩) 1名参加

テレビドキュメント部門 最優秀賞

創作ラジオドラマ部門 優秀賞

創作テレビドラマ部門 最優秀賞

ラジオドキュメント部門 優秀賞

朗読部門 2位 川上 裕美

4位 丹羽 のぞ美

6位 松尾 容子

アナウンス部門 4位 宮脇 千波

JOTK杯獲得(総合優勝)

第57回NHK全国高等学校放送コンテスト

創作ラジオドラマ部門 準々決勝進出

ラジオドキュメント部門 準々決勝進出

創作テレビドラマ部門 準々決勝進出

テレビドキュメント部門 準々決勝進出

研究発表部門 研究奨励賞

朗読部門 川上裕美 準々決勝進出

朗読部門 丹羽のぞ美 準々決勝進出

朗読部門 松尾容子 準々決勝進出

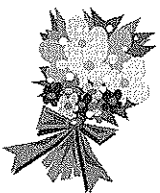
アナウンス部門 宮脇千波 準々決勝進出

第34回全国高等学校総合文化祭

AP部門 出場

朗読部門 出場

川上 裕美



新任教職員紹介

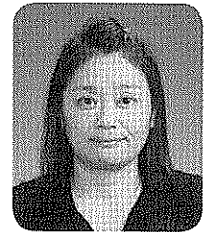
次の四項目に答える形で紹介します。

- ①教師にならなかつたら何になつていきますか。
- ②もし百万円の宝くじに当たつたらどうしますか。
- ③長所と短所を教えてください。
- ④東高の感想。



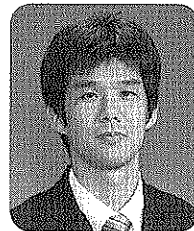
広野 由紀子
担当教科(国語)
担当学級(33R 副担任)

- ①看護師になつていたかもしれませんが。合格していたので。
- ②夫と二人でヨーロッパ旅行とかいいですね。
- ③長所↓あまり怒らないこと。
短所↓涙腺が弱くなつたこと。
- ④図書館を学習センターと名付けたところがすばらしい。名実ともに学習のセンターになるといいと思います。



新宮 美也子
担当教科(国語)
担当学級(27R 担任)

- ①「何か」を作る人になつていたと思います。
- ②半分は後のために貯金し、半分は家族のために使うでしょう。
- ③長所↓隠忍自重
短所↓器用貧乏
- ④生徒も先生もそれぞれに頑張っている学校ですね！



大塚 敬之
担当教科(国語)
担当学級(12R 副担任)

- ①主夫。
- ②家族旅行に使いたいです。人生観が変わるようなところへ出かけたい。
- ③長所↓何事もマイペース。
短所↓人見知り。
- ④生徒のみなさんも先生方も、いろいろな意味できちんとした、穏やかな学校です。侃侃たりりです。



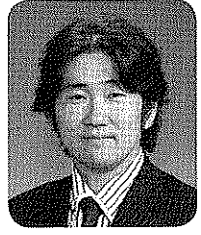
坂本 恵
担当教科(世界史)
担当学級(2年 学年付)

- ①猟師
- ②しばらく山登りをさせてもらいます。
- ③短所はストレスを溜め込むところ。人付き合いが下手など。
- ④みんな忙しそうですが、よく頑張つてると感じる学校です。



野々村 卓
担当教科(日本史)
担当学級(補習科)

- ①日本史の研究者か考古学者
- ②ゆつたりとした旅に行きたいですねえ。
- ③短所：せっかちなところ
長所：気持ちの切り替えが早い
- ④生徒の挨拶が気持ちのいい学校。学習面では、「まだまだがんばれるのでは?」と感じています。



松本 学
担当教科 (世界史)
担当学級 (35 R 副担任)

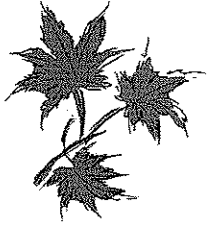
- ①研究者
- ②家を建てる頭金にします。
- ③(長所でもあり短所でもあるのですが)マイペース
- ④活発で元気な生徒が多いと思います。



周藤 雅
担当教科 (数学)
担当学級 (23 R 副担任)

- ①サラリーマン。
- ②百万円分の短パン買います。
- ③長所 新しいことに興味津々。
- ④細かい所まで配慮の行き届いた学校。

短所 飽きっぽい。



勝部 雅生
担当教科 (数学)
担当学級 (1年学年付)

- ①教員でなくても、数学や科学関係の職業(研究職?)
- ②旅行(山登り、ウィーン旅行)のために貯金します。

- ③長所 ↓ 気が長い
- 短所 ↓ なかなか諦め切れない
- ④東高OBの先生からは以前、「忙しいけどのんびりしている学校」と聞いていました。その通りでした!



石 飛 隆
担当教科 (地理)
担当学級 (25 R 副担任)

- ①測量士か修理屋
- ②50万↓すき放題家族で使います。残りは貯金。
- ③短所 ↓ 怒りっぽい
- 長所 ↓ 年々怒りを我慢できるようになる
- ④校歌はかっこいいと思います。



福田 貴子
担当教科 (理科)
担当学級 (14 R 担任)

- ①歯科医(になれば、自分で歯を治療できて、痛い思いをしないだろうと、幼稚園児のときに考えていました。)
- ②旅行に行きたいです。

- ③長所、短所 ↓ 細かいことにあまりこだわらない。
- ④活気ある学校だと思います。



渡邊 渉
担当教科 (化学)
担当学級 (13 R 副担任)

- ①沖縄で、海人(ウミンチュ)
- ②四人乗りアウトリガーカヌー(OC4)を買う。
- ③長所・ガチマヤー(大食い) 見ていて気持ちよいほどよく食べる。
- 短所・テীগー(てきとう)

- ④はじめはみんなハジカサー(恥ずかしがりや)。一ヶ月経ったら、女子はユンタク(おしゃべり)大好き、男子はウーマク(やんちゃ)三ヶ月経ったら、みんなドウシグワー(友達)。



野崎 愛里

担当教科 (生物)
担当学級 (22 R 副担任)

- ① 医療系の職に就いていたかな。
- ② 海外旅行に行きたいです。
- ③ 長所：素直な所。
短所：おっちょこちょいな所。
- ④ 生徒のみなさんが、楽しそうに伸び伸びと生活しているなあと印象があります。また、パワーのある学校だと感じています。



足立 みどり

担当教科 (英語)
担当学級 (11 R 副担任)

- ① 看護師
- ② 日本全国食べ歩きの旅に出かける。
- ③ 長所↓立ち直りが早い
短所↓忘れっぽい
- ④ 公園のように整備された庭園、明るい校舎、そして生徒のみなさんのさわやかな挨拶が印象的な学校です。



尾原 美香

担当教科 (英語)
担当学級 (16 R 担任)

- ① 海外の小さな観光業社で働いている。
- ② 家族で海外旅行。
- ③ 世界中どこでも身軽に行ける行動力があるところ。決断するまでが長いところ。
- ④ 明るくて、素直で、元気！明るい挨拶と笑顔と、学校全体に、あったか〜い雰囲気があります。



サラ・ブレンクホーン

(ALT)
担当教科 (O・C・I)

- ① I think I would like to be a singer. I love to sing, and in Japan I've tried many kinds of singing, like karaoke, live, and even shigin! (ALTをしなければ) 歌手になりたいです。歌うことが大好きですし、日本でもカラオケとか詩吟など、いろんな種類の歌を歌います。
- ② I would save it, because someday I want to design my own house!
- ③ My good points: I'm friendly, hard-working,

and positive, I like talking to people and learning new things.

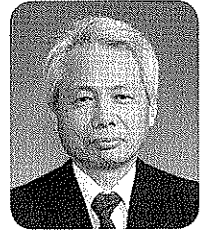
My bad points: sometimes I feel shy, and sometimes I am not patient. Also, my Japanese is not so good, but it is slowly getting better! ☺

長所：すぐに誰とでも打ち解ける方。勤勉、前向き。人と話したり、新しいことを学ぶのが好きなどところ。

短所：時々内向的になる。忍耐強くなれないことも。それから日本語があまり上手ではないですが、少しずつ上手になっているところです！

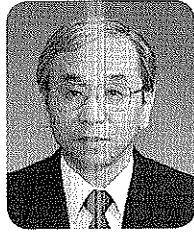
④ I like Higashi a lot! The teachers are hard-working and very kind to me, and the students are friendly too. Sports day was very exciting! 東高は大好きです！先生方は勤勉でとても親切ですし、生徒たちも気軽に声をかけてくれます。体育祭はとても楽しかったです。





善浪 紀夫
事務長

- ①作家（錯覚か？）
- ②とりあえず預金して、何に使うのかを毎日考えて楽しむ。現実的には、住宅ローンの返済に消える。
- ③わがまま、短気、優柔不断、ボヤツとしている、など短所は多数あり。
長所は特になし。
- ④明るく活気がある。保護者や地域の皆様の東高への厚い思い入れが感じられる。また、卒業生の母校に対する愛着心は並々ならぬものを感じる。



高尾 収
企画幹

- ①何らかの形で公務員（もしかしたら教師）になっていたと思います。
- ②貯金。
- ③長所：真面目。
短所：短気。
- ④教師と生徒の関係がすごくフラシクだと思います。



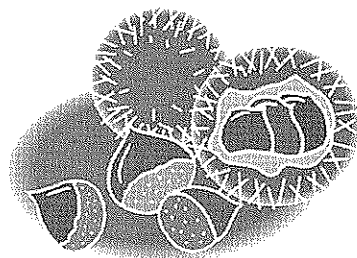
宅間 ひとみ
主任

- ①主婦。
- ②貯金。
- ③子どもにすぐおこる。おこるけどやさしい…。と子どもが言っています。
- ④校舎がきれいで、気持ちよく勉強できるのではないかと思います。



竹田 奏絵
事務員

- ①ちまちまアクセサリー作りをしていると思います。
- ②次女にシルバー製のフレンチホルンを買う。
- ③長所：超ポジティブ。
短所：気が短い。
- ④十六年ぶりに仕事に出ているので、皆さんにご迷惑をかけることも多いのですが、優しく教えていただいている、感謝する毎日です。明るく挨拶してくれる生徒さん達からも元気をもらって、大分若返ったように思います。



平成二十二年 P T A 会務報告

(平成二十二年四月一日～九月三十日)

一 平成二十二年一度第一回 P T A

常任理事会 (5/11)

- 二 平成二十二年 P T A 役員引継・第一回役員会・
総会・生徒活動後援会・学年 P T A (5/15)

総会議事

- (1) 平成二十一年度会務報告
- (2) 平成二十一年度学校徴収金諸会計決算

- ① P T A
- ② 記念事業
- ③ 施設充実費
- ④ 進路指導費
- ⑤ 生徒会
- ⑥ 部活動振興費・学級費

- (3) 平成二十二年 P T A 役員選出

- (4) 新旧役員挨拶

- (5) 平成二十二年事業計画
- (6) 平成二十二年学校徴収金諸会計予算

総会報告

- (1) 平成二十一年度末松江東高校人事異動
- (2) 教育方針・教育目標
- (3) 平成二十二年学校務分掌・学年の重点目標
- (4) 校務分掌等教員配置

生徒活動後援会総会議事

- (5) 学級担任
- (6) 平成二十一年度生徒実績報告(部活動・進路)
- (7) スーパーサイエンス事業

- (1) 平成二十一年度生徒活動後援会会計決算
- (2) 平成二十二年生徒活動後援会役員選出
- (3) 新旧役員挨拶
- (4) 平成二十二年生徒活動後援会会計予算

三 P T A 進路指導委員会 (5/15)

四 第一回評議委員会・安全互助理事会 (6/12)

五 平成二十二年 P 連総会 (6/12)

六 第一回保護者面談(全学年) (6/15～18)

七 平成二十二年第二回 P T A 役員会・生徒

指導委員会・研修委員会・広報委員会 (6/18)

(1) 学校近況報告

(2) 本年度の P T A の活動について

(3) 意見交換

八 第五十回中四国高校 P T A 連合会大会

鳥取大会 (7/9)

九 平成二十二年 P T A 各地区支部総会

城東・川津・市内通学区外、隠岐 (7/23)

隠岐 (7/24)

西津田・東津田 (7/26)

安来、朝酌 (7/27)

竹矢、島根・野波 (7/28)

持田、美保関 (7/29)

本庄、八束 (7/30)

(1) 学校近況報告

(2) 学年別懇談

(3) 次年度役員選出

十 第五十九回全国高校 P T A 連合会大会

東京大会 (8/20～21)

十一 平成二十二年 P ガーデニング講習会

(8/21)

十二 東雲祭 文化の部 (8/27～29)

ガーデニング作品展示

十三 平成二十二年第二回 P 連評議委員会

安全互助会理事会 (9/11)



編集後記

今年、ノーベル化学賞を受賞した二人の日本人科学者が共通の恩師に学んだことをテレビで話していました。その中で、恩師はもちろん家族や友人など「人生を変えた出会い」に感謝する言葉を語っていました。

さて、四月に入学した一年生も多くの出会いがあったと思います。「人生を変える出会いに高名、無名は関係なく素晴らしい出会いを得た人生ほど豊かなものはない。」とある書物に書かれていました。わが子が東校に学ぶ中で、よき先生・よき先輩・よき友人と素晴らしい出会いを得られるよう支えていこうと思います。

広報部 太田 富士子



長男が入学して半年が経ちました。中学校とは違う雰囲気、保護者として学校や子供とどう関わっていけばいいのかわどいきました。

しかし、家や学校で課題に取り組む姿、東雲祭でチームをまとめる三年生に刺激をうける様子に、子供の成長を感じています。親や先生の思い、子供達の成長が伝わるような広報紙を発行していきたいと思っています。

広報部 狩野 百利

編集委員

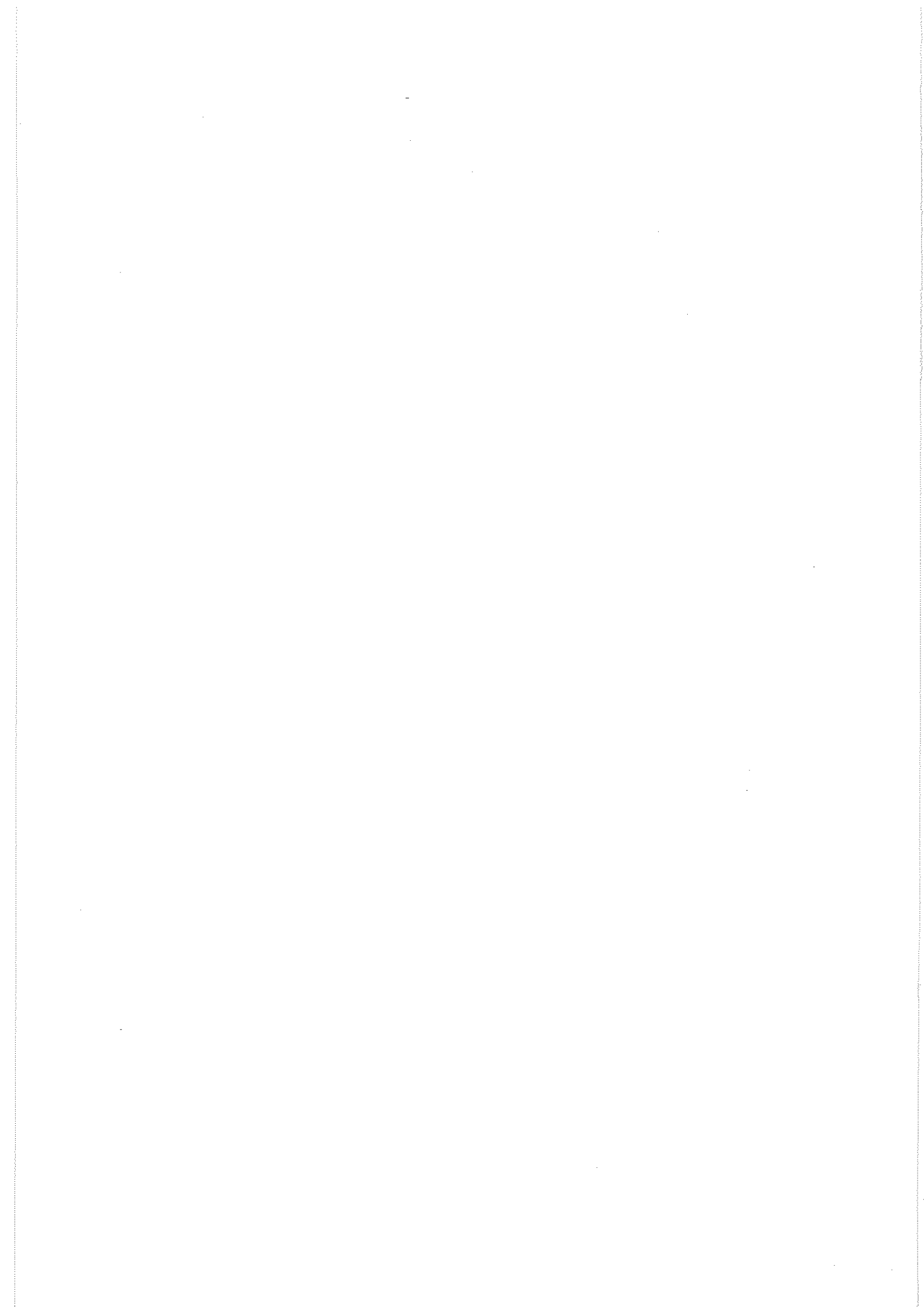
太田 富士子
狩野 百利
青山 久美子
石橋 真由美
佐川 敬子
竹原 由美
鷺野 亜紀
大塚 敬之

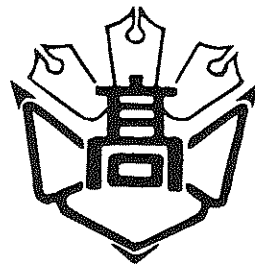


四月、「東高」という未開の地(?)に足を踏み入れてから、早半年。各々不安を余所に楽しげに過ごす我が子の姿を見れば、ああ、この選択で良かったんだ、と思いたくなる。何年・何十年先に自分の歩んだ道を悔やまないで欲しい。いや悔やんでもいい、そこからまた新しい道を行ける力を、養えばいいんだから。この東高で過ごす三年間は、きつとその礎となる事でしょう。そう思えてならない素敵な学校だと思えます。

最後に、会報発刊にあたりご協力戴きました皆様、誠にありがとうございます。

広報部 青山 久美子





〈表紙の絵〉 竹田 茂 (本校教員)

〈題 字〉

P T A 会報 森脇 哲朗 (旧本校教員)

嵩山 上田久美子 (十三期生保護者)